

整理番号 S-22

出 展 織物欠点解析事例集

欠 点 名 たて筋(箄筋、箄当り)

品 名 梨地ジョーゼット

試料形態 織物

組 織 梨地

糸 使 い

たて糸:ポリエステル 75d 強撚糸

よこ糸:ポリエステル 75d 強撚糸

欠点発生状況

たて筋は染色後に発見されたもので、耳端から40～50cm位までの範囲でランダムに発生している。生地はウォータージェットルームで製織したものである。

試料写真



試験結果

(1)マイクロスコープ観察

(2)電子顕微鏡観察

経筋糸
(濃染) →

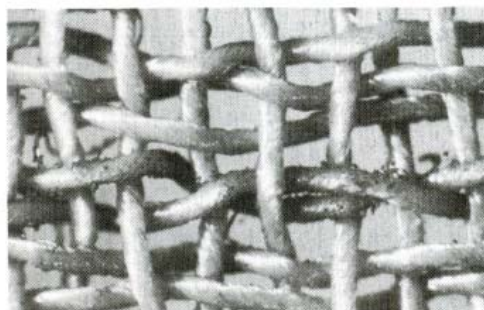


写真 1. 箴筋

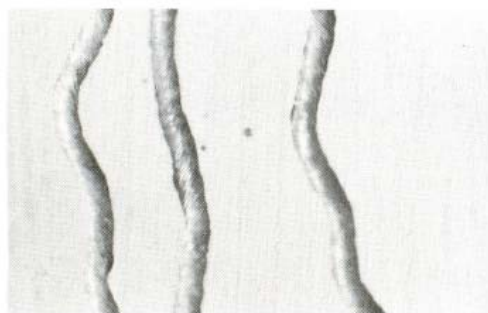


写真 2. 経糸正常糸

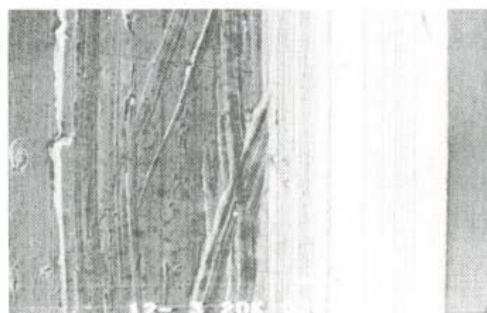


写真 4. 箴羽（後）

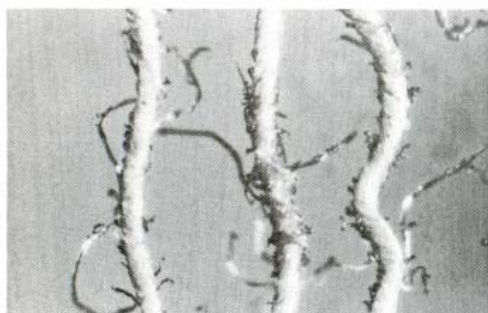


写真 3. 経糸欠点糸



写真 5. 箴羽（前）

所見

写真 1 は織物の顕微鏡写真であるが、中央のたて筋糸が疵つき濃染されていることがわかる。写真 2、3 はたて糸を織物からはずして更に拡大したものであるが、たて筋糸は毛羽立ちが激しく、毛羽の先端は溶けた状態になっており、毛羽が濃染していることがわかった。写真 4、5 はたて筋糸に対応する箴羽の電子顕微鏡写真であるが、箴羽の前、後の疵が著しかった。従って、本欠点は箴羽に生じた疵がたて糸を傷め、濃染される原因となった様に考えられたたて筋欠点と云うよ

りも、箴当り欠点と見るべきと考える。なお本欠点は、たて筋糸が顕著に濃染するのが特徴である。
